

# 全国税

発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

# 大会特集

## 上意下達の職場を変革しよう 悩み、不満、要求を束ねて ゆとりと誇りもてる職場に

全国税は、8月22日から3日間、東京都内で第66回定期大会を開催しました。ノルマや限界を超える事務量押しつけで、労働強化やパワハラがまたえる要求とたたかう方針が満場一致で確立されました。



「周りとのシンクロ率アップの秘訣は……」の発言に、大会会場は爆笑

## モチベーションは急低下 これでいいのか 国税庁



山本新書記長が談話

当局は永年勤務者表彰を見直すという情報提供を行ってきた。その内容は、祝賀会の中止と記念品贈呈廃止が主な内容だが、美術展等の中止と同じく、「無駄遣い指摘」への対応とみられ、到底容認できるものではない。また、「総務省の統一の方針」を唯々諾々と受け入れ、表彰該当者にだけ知らせるといったやり方に、憤りすら覚える。

### 美術展中止・永年表彰見直しに抗議、撤回を求める

冒頭、志半ばで亡くなられた小川清明さん(関信地連・信濃中野分会)に黙とうをささげた後、開会にあたり岡田副委員長は「小川さんは財務省美術展でも入賞するほどの腕前だった。その美術展を中止するのは、結果として山口委員長は「成果」



山口委員長

8月15日、町村官房長官は定例記者会見で「半数の都道府県で給与引き下げが行われている」「国も同じ厳しさにありながら、ボーナスも賃金も据え置き、かつ勤務時間15分短縮ということ」が、果たして今の世の中の趨勢からスナリ受け入れられるのかどうか」と言及しています。大会では、15分短縮の



## 青年部が大会報告

大会2日目、「第35回青年部定期大会」の報告がありました。報告は、①青年の雇用を守るための一翼を担う、②このままでは生きていけないと青年世代は声を上げ行動を起こしている。職場の青年も同じエネルギーを持っている、③青年の生の要求を掘り起こし、共同して実現していく、等を運動の基本にして、青年を全国税に迎え入れ、青年部を強く大きくする決意が表明されました。

主義と無理な効率化は取り競争や労働強化をまん延させるもので、座視できない。行政と仕事はどうあるべきかを語り合っていきたい」「秋から調査件数削減、e-Tax普及尻叩き反対、確実期の超勤本削減、拙速な内部事務一元化反対、狭隘庁舎・書庫を放置するなど追及を強める」



長谷川書記長

### 職員の要望に合わせた15分短縮を「見送り」画策、不当介入は絶対許さない

「見送り」画策など政府の不当な介入をはねのけ、勤務時間法等の早期改正・実施を求める行動を集中していくことを確認しました。

のあり方を探求する」と強調、「仕事はどうあるべきかを語り合う中で、職場要求を実現し、差別のない職場をつくらう」と訴えました。



長谷川書記長



長谷川書記長



全税連・斉藤委員長



日本共産党・佐々木議員



国公労連・香月書記次長

「政治家自ら身を切るべき」と嘆息も切ったが、年間320億円の政党助成金は聖域扱いに。「政治とカネ」にかかわる幽霊事務所費疑惑がまたぞろ発覚したが、お咎めはない▼国民の怒りをかわすための公務員パッシングは常套手段だが、公務員は砂を噛めというような「無駄遣い撲滅」は到底底根できない。

「メタボ」にひっかけ「メタボ」と悪のりし、無駄遣い撲滅を政府に提言している自民党内プロジェクト▼出来レースのように、総務省は「レク経費の予算要求は行わない」とお触れをだす。各府省庁も唯々諾々と受け入れ、国税庁も美術展は中止、表彰も貧相なものにするという貢物を差し出す▼無駄遣い撲滅プロジェクトチームは「政治家自ら身を切るべき」と嘆息も切ったが、年間320億円の政党助成金は聖域扱いに。「政治とカネ」にかかわる幽霊事務所費疑惑がまたぞろ発覚したが、お咎めはない▼国民の怒りをかわすための公務員パッシングは常套手段だが、公務員は砂を噛めというような「無駄遣い撲滅」は到底底根できない。

### 詰将棋

〈出題〉九段 西村一義  
中級クラス  
〈ヒント〉飛車のうまい活用で。(10分で三段) 持駒 飛金金桂

6	5	4	3	2	1
		金		王	星
				香	香

# 定期大会 報告・討論より

## パワハラで相次ぐ退職

▽90名の職場で、ナンバ―統括3名、総括上席1名を含め7名が退職、署長のパワハラが原因との噂が広がり、「こういう職場であってはならない」と署長に釘をさした。▽パワハラで名をはせる統括官は異動の度に若い職員を退職に追い込む。仕事をやらせ方との因果関係を認めないことがパワハラ頻発の原因だ。▽パワハラ発覚メールが届いたが、名指しの4名は処分もされず出世し、加害者が淘汰されない。▽独り善がりの理屈を部下に押し付ける統括官の配置換えを要求した。今回の異動で「部下なし特官」となり、粘り強い追及の成果と考える。

## 職員を泣かせるノルマ

▽正義感の強い青年は良



ボードも使い、「周りとのシンクロ率をアップするコツは」と発言する田中近畿地連代議員

い仕事をした。しかし、件数に追われ、「準備調査ができない」「泣いて帰った」等の声が寄せられており、今後も交渉の度に当局に突きつける。▽6月の調査件数は12



坂東北海道地連代議員

## 灯油高騰に悲鳴、寒冷手当改善は急務

## 処遇後退は重大

▽勤続20年・上席が崩れ、普45期の一部未発令、勤勉手当低率支給も目立って増えた。重大な処遇後退に該当者ぐるみで押し返す必要がある。



小宮山東海地連代議員

## 理由説明なし、一方的指示は納得できない

## 福利厚生ないがしろ

▽公務員に対する風当たりが強いと、寮母さんや辞めさせ独身寮食堂を潰した。そのため半年で5キロも太った。外圧を口実に福利厚生をないがしろにする仕打ちを跳ね返



佐藤東北地連代議員

## 尊厳傷つける「事務運営指針」に抗議中

## 仕事のことも要求も双方方向の関係が大事

▽若手育成が強調されているが、「お前たちに仕事を教えても自分の評価につながらない」と公言する指導担当者もいる。年数をかけ、若手が多くの職員と関わる中で、仕事を引き継げるよう要求していく必要がある。



高橋関信地連代議員

## 再任用の条件改善を

## パワハラ加害者が淘汰されないことに憤慨

▽永い間内部の仕事をしてきた職員に、外部事務を条件とした再任用はハードルが高い。地方局の再任用は極端に少ない。していく必要がある。



井原四国地連代議員

## 全国からの要請を力に

## まともな電子申告を

▽強引な誘導と代打ちで福岡局はe-Tax普及

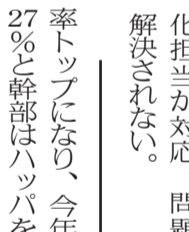


藤平東京地連オブ

## 年次採用女性職員の処

## 遇底上げを強く求める

▽試行署の管理部門は職員が減らされ、一元化担当と賦課内部の間で仕事の押し付け合いが危惧さ

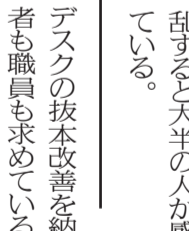


山口潤一郎(東京南)

## 「雇止め」の一掃を

## 「雇止め」の一掃を

▽「雇用期間満了通告」で、3名のアルバイト職員を雇い止めた。当人は、局パワハラ相談室や地域の労働相談で、精神的苦痛を訴えた。そうした中、裁判官同席の調停の場で当局は口頭で謝罪したが、雇い止めは撤回を拒否した。



山本浩二(東京中)

## 「雇止め」の一掃を

## 「雇止め」の一掃を

弱い立場の人を支援する全国税に、当人からは感謝の言葉が寄せられたが、非情な雇い止めは一掃していく必要がある。

件、超勤の連続で計画件数をこなし、準備調査もできずまともな調査ができない、ノルマの弊害は明らかで、是正を迫る。

事を見せても自分の評価につながらない」と公言する指導担当者もいる。年数をかけ、若手が多くの職員と関わる中で、仕事を引き継げるよう要求していく必要がある。

れる。マニュアルは全て網羅せず、局も署も手探り状況にある。▽週2回平日交替で相談業務を割り振っているが、個別と一般の区別できず、結局は一元化担当が対応、問題は解決されない。

▽一元化の説明で、「ストップ5」に到達するまで10年かかるかもしれない、仕事のなすり合いも起きかねないとの当局の認識が読み取れた。これで全署実施すれば、大混乱すると大半の人が感じている。

デスクの抜本改善を納税者も職員も求めている。

### 08機関紙コンクール結果について

秀作 分会紙 『全国税玉川』(東京南支部玉川分会) 『全国税あつた』(愛知支部熱田分会)

支部紙 (近畿地連東大阪支部『東大阪』)

佳作 支部紙 『全国税東京中』(東京地連東京支部) 『全国税あおもり』(東北地連青森支部)

1000号記念特集号を含めた地連機関紙『全国税北海道』は特別賞とします。

## 新役員紹介

【中央執行委員長】 山口潤一郎(東京南)

【副中央執行委員長】 阿部 富次(埼玉)

【書記長】 山本 浩二(東京中)

【書記次長(専従)】 井ノ上繁利(東京中)

【副中央執行委員長】 前川 幸徳(愛媛)

【書記長】 長谷川 健(南大阪)

【副中央執行委員長】 中島 計衛(群馬)

【書記長】 小田川豊作(東京中)

【副中央執行委員長】 石井 悟(東京中)

【書記長】 中尾 清次(福岡)

【副中央執行委員長】 小野 吉春(道中)

【書記長】 佐藤 勉(宮城)

【副中央執行委員長】 大野 互(埼玉)

【書記長】 黒河内隆史(埼玉)

【副中央執行委員長】 真貝 正治(埼玉)

【書記長】 岡澤 利昭(東京東)

【副中央執行委員長】 高橋 誠(東京中)

【書記長】 田山 文武(東京南)

### 詰将棋

【解答】

▲2一金△同玉▲3三桂△2二玉▲2一飛△3三玉▲4三金△同玉▲4一飛成△3三玉▲4二竜まで11手詰。

【解説】

▲2一金に△3三玉なら▲4三金△同玉▲4二飛△3三玉▲4五桂です。3手目▲3三桂から▲2一飛とつづいて7手目▲4三金がつまみ決め手です。



## 全国税組合員として 声を上げていきます

大会には、新たに全国税組合員として活動を始めた二人の仲間がかけつけました。

その一人の長野さん(普56期・千葉支部)は、「財務省に3年間行き、ボロボロにされて署に戻った。帰ってきてから署長等から嫌がらせを受けた。しかし、全国税に加入して言うべきことは言えるようになった」と加入したばかりで何が

できるか分からないが、声を上げていきたい」と抱負を語りました。

もう一人の鈴木さん(普45期・東京支部)は、「全国税組合員との交流の積み重ねの中で、今日ここにいます。大会スローガンにある誇りにこだわっていく」「皆さんの多くは30年以上の経験を持っている。仕事上の技術だけでなく、子育て、職場と生活、趣味等

なんでも良いから次の世代に伝承して欲しい。若い人は自分の話を聞いてくれる人には好感を持つ。どう伝えていきたいか、その想いを語れば、相手に伝わる」「私としては紙面を通じて伝えたいし、大事にしていきたい」と熱く語りました。

二人の想いに応えて、歓迎と連帯の拍手が会場から一斉にまき起りま



固い握手を交わす山口代表委員と宮城副代表委員

全労連、連合というナショナルセンターの違いを超えてつくる「全国税・沖縄国公労全税支部協議会」は8月22日、第25回定期大会を開催しました。

一致する要求にもとづく共同行動を進展させ、協議会による長官交渉を引き続き強化する方針を採択、代表委員に山口潤

一郎全国税委員長、副代表委員に宮城信明全税支部書記長を選出しました。

## 第25回協議会定期大会 共闘、交渉を一層強化

- 【中央執行委員】
- 小野 吉春(道中)
  - 佐藤 勉(宮城)
  - 大野 互(埼玉)
  - 黒河内隆史(埼玉)
  - 真貝 正治(埼玉)
  - 岡澤 利昭(東京東)
  - 高橋 誠(東京中)
  - 田山 文武(東京南)
  - 豊田 啓子(三多摩)
  - 一森 進治(東京中)
  - 増山 満樹(東京南)
  - 山道 外誠(東京南)
  - 田中 久則(愛知)
  - 澤田 孝司(富山)
  - 松本 純治(東大阪)